

みどりの食料システム戦略の広報活動について

市町村やJAの発行する広報誌にみどり認定や環境負荷低減のクロスコンプライアンス（みどりチェック）記事を掲載し農業者に対してダイレクトに周知を行う。

○ 施策分類

みどりの食料システム戦略

○ きっかけ・背景、課題の把握

宮城県内の全市町村、全JAに対してみどり認定やみどりチェックの説明を実施したが、訪問時に農業者に尋ねたところ情報が十分届いていないことも少なからずあると思われた。このため直接農業者が情報を受け取る策が必要と考え、宮城県内の市町村及びJAが発行する広報誌を活用してダイレクトに農業者に周知できないか検討した。

○ 取組の内容

県拠点において、みどり認定及びみどりチェックに関する広報誌用の原稿、折込用チラシを作成し、各地区担当から宮城県内の全市町村（35）と全JA（10）に対して、広報誌への掲載やチラシを広報誌に折り込むなどの方法で農業者への周知を進めるための協力を働きかけた。

○ 効果・成果、今後の方向性

広報誌への掲載等について、県北を中心として6JA、県南を中心に6市町村が実施。

これをきっかけとして農業者に対してJA独自の勉強会を開催する等気運の高まりも見られた。

県拠点として今後も広報誌掲載を1つの伝達手段として活用するとともに、関係機関が開催する会議や意見交換等の場において農業者に周知を行っていく。

広報誌の掲載ページ



A農協



B農協

体制図

宮城県拠点
（原稿、チラシ作成）



宮城県本庁
地方振興事務所

広報誌掲載
働きかけ

宮城県内の全市町村、全JA

広報誌、チラシ等による伝達

農業者